

日本発生生物学会

# インホーメーション・サーキュラー

No. 1

1968年10月

日本発生生物学会

日本発生物学会発足後の学会活動を全会員にお知らせするため、このサーキュラーをだすことになりました。サーキュラーには、お知らせする事項とともに、会員の御返事を求めるばあいもありますので、必ず御一覽下さい。

---

学会への問い合わせは、下記宛お願いいたします。

京都市左京区北白川追分町  
京都大学理学部植物学教室内  
(郵便番号 606)

日本発生物学会

## 内 容

### I お知らせ

#### 1 選挙について

#### 2 運営委員会討議事項 …… など

### II おねがい

#### 1 欧文誌講読者へ

#### 2 会費納入 …………… など

### III 欧文誌新誌名募集について

### IV 会員変動

## I お知らせ

### 1. 役員選挙について

5月の総会での諒承にもとづき、第1回の会長および運営委員選挙施行細則を準備委員会にて定め、会員名簿に掲載されている444名の会員を選挙人および被選挙人として、去る7月および8月に選挙が行なわれた。その結果は次の通り。

会長選挙（第1次投票総数213・7月16日開票、

第2次投票総数233・8月3日開票）

当選 団 勝 磨 （東京都立大学）

次点 市 川 衛

運営委員選挙（投票総数213・7月16日開票）（定員14名）

当選 岡田 節人（京大・理・生物物理） 竹内 郁夫（京大・理・植）

天野 実（国立がんセンター研） 古谷 雅樹（東大・理・植）

柳田 友道（東大・応微研） 山名 清隆（九大・理・生）

柳島 直彦 (大阪市大・理・生)      前田 靖男 (京大・理・植)  
江口 吾郎 (名大・理・生)      梶山 正雄 (名大・理・生)  
岡崎 嘉代 (都立大・理・生)      飯野 徹雄 (国立遺伝研)  
日野 精一 (広島大・理・植)      岡田 善雄 (阪大・微研)

次点 竹市 雅俊

## 2. 第1回運営委員会討議関係事項

最初の委員会は9月7日東京神田の学士会館で開かれ、学会の当面する諸問題が検討され、下記の諸点が決定された。

- a) 事務局は京都大学理学部植物学教室に置く。
- b) 会長委嘱役員は下記の通り (ABC順)。

会計監査 原 田 市太郎 (北大・理・植)

他一名交渉中

幹事 会計担当 石 崎 宏 矩 (京大・理・動)

庶務担当 加 藤 憲 一 (同志社大・生)

事務事項の処理は上記2幹事と、本部所在地の竹内都夫の協議によって行う。

- c) 欧文誌編集主幹は梶山正雄 (名大・理・臨海実) とする。また同編集委員は、運営委員会委嘱の委員 (3名) と主幹委嘱の委員 (6名) があるが、そのうち次の8名が決定された。他の1名については交渉中。

天野 実 (国立がんセンター) 団 仁子 (お茶の水大)  
古谷 雅樹 (東大) 飯野 徹雄 (国立遺伝研)  
丸山 工作 (東大・教養・生) 岡田 節人 (京大)  
岡田 善雄 (阪大) 柳島 直彦 (大阪市大)

なお、来年以降の欧文誌は、誌名を変更することに決ったがⅢの項を参照されたい。

- d) 和文誌については、将来の取扱いも含めてどのような形式のものにするかにつき、古谷雅樹・岡田節人・柳島直彦の3者で検討をすゝめることになり、編集主幹や委員はその後のこととする。
- e) 雑誌関係付記…… 今年発行分については、欧文誌は佐藤忠雄、和文誌は市川 衛がそれぞれの編集責任者として、刊行にあたることは、総会で諒承された通り。
- f) 第2回大会は、総会で諒承された通り、木戸哲二を大会委員長とし、金沢大学で、来年5月31日(土)6月1日(日)の両日にわたって行い。

## Ⅱ おねがい

1. 欧文誌講読者の方へ 総会では今年発行分は、巻号が途中なので、来年分から配布するよう説明されましたが、運営委員会で討議された結果、やはり今年分中途であっても配布するよう決定されました。したがって、会費は今年度分のもとなります。是非御諒承載きたく存じます。

2. 会費納入について 選挙前に会費を払い込みの方には、領収証を先におとどけ致しましたが、その後現在迄納入の方には領

収証を同封致します。まだ納入されていない方は、同封振替用紙を用いて送金して下さい。ただし、すでに納入済の方でも、領収証が同封してない場合がありますが、送金は貯金局 - 銀行を通し時日を要するので事務局に不明なためです。御諒承下さい。

3. 配布希望誌未練絡の方へ 至急に、いずれの希望か別記の入会とどけ表を用いて連絡して下さい。雑誌印刷部数を決める上で困っております。

4. 新たに入会を希望される方がありましたら別記の入会とどけ表を利用して載くなり、学会事務局宛（所在地は、表紙内側にある）連絡下さい。

### Ⅲ 欧文誌の新誌名募集について

下記のような希望が編集主幹から寄せられました。編集委員会開催日との関係もあり是非10月19日迄に必着するよう、御配慮下さい。御意見は同封ハガキにてお願い致します。

御承知のように、本学会の欧文誌としてEmbryologiaを引きつぐことになっております。発生生物学会の発展とともに、この欧文誌も大きく発展させなければならぬと思います。

先日の運営委員会において、Embryologiaの誌名を新学会にふさわしいものに改めることが決定されました。Embryologiaという名では発生生物学の著しい進歩の内容をカバーできなくなっていること、新学会の成立とともに誌名も新たにして脱皮することが、このEmbryologiaを大きく発展させる道であることなどがその理由であります。

つきましては、会員諸氏から新誌名の募集をしたいと思います。今までに  
“Developmental Science”, “Development and Differentiation”  
“Growth and Differentiation”というような名が出されています。また  
“Biogenesis”というのも出されています。会員諸氏にはこれらにこだわら  
ず名案をおよせ下さいますようお願い申し上げます。編集委員会で十分審議し  
てきめさせていたゞきたいと存じます。

切 10月19日必着

梶山正雄

#### IV 会員変動

新入会（ただし、前に郵送した名簿に添付紙として追加した分を含む、記載は原則として

氏名・①所属 ②連絡先 ③研究主題の順）

尾里健二郎：①京都大・教養・生

岩永 晶一：①大阪大・理・生 ③細胞生理学

覚道 幸男：①大阪歯科大・生理 ②大阪市東区京橋一丁目47

③だ液腺の分泌・排泄（人および哺乳動物）

中嶋 英治：①大阪府立大・教養・生 ②堺市百舌鳥梅町

③形態的・生理的・形質の形成および分化

片島 亮：①広島大・理・動 ③繊毛虫における形態発生の遺伝子制御について

(*Euplotes patella*)

武内 伸夫：①宮城教育大・生 ③環形動物の神経分泌

高橋三保子：①宮城教育大・生 ③繊毛虫の遺伝子発現機構（ゾーリムシ）

朝倉 昌：①名古屋大・理・分子生物

藤井 孝朗：①日本メルク萬有K, K試験研究所 ②（自）愛知県岡崎市羽根町字池下

51の3番地

大木 健市：①名古屋大・教養 ③両生類初期胚の発生機構

牧野 彰吾：①埼玉県立寄居高校 ②埼玉県大里郡寄居町桜沢

---

取消し 足立 明子 名簿 6頁上

---

おことわり

最初の発生生物学誌は、今秋発刊の予定でしたが、一部原稿未着および印刷所の都合などのためおそらく12月発行になります。おわびとともに御諒承お願い申し上げます。